



発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市中央  
7-10-9  
電話 736-9933  
FAX 736-9991

市長選挙

住みよい春日部をつくるみんなの会  
の  
だ  
角田たえ子さんを擁立

6月3日(木)、「住みよい春日部をつくるみんなの会」

(略称・みんなの会、松島捨夫代表世話人)は、10月17日告示、24日投票で行われる春日部市長選挙に角田たえ子さんを擁立して戦うことを決定しました。

角田たえ子さんの略歴は下記の通りです。



角田たえ子略歴

- 1951年(昭26)12月、群馬県安中市(旧松井田町)生まれ、69歳。
- 武里・大場に48年間在住。
- 群馬県立高崎女子高校、群馬大学教育学部卒業。
- 足立区、越谷市で公立小学校教諭38年間。埼玉県教組女性部副部長。
- 新日本婦人の会会員、武里こども食堂運営スタッフ。

みんなが安心して暮らせるあたたかい市政に

角田たえ子さんの決意表明は次の通りです。

38年間教員として、すべての子どもたちが大切にされる教育の実現、教職員の超過密勤務の解消などにとりくんできました。

5つの基本政策 (重点政策)

- 1、福祉・医療充実のまちに
  - ・コロナ感染症防止対策の強化
  - ・保育料・給食費の負担軽減
  - ・「春バス」など公共交通の拡充、要介護1以上の高齢者にタクシー補助券支給
  - ・障害者入所施設の建設
- 2、災害に強く自然と環境にやさしいまちに
  - ・生活道路・街路灯などの生活環境整備
  - ・水害の多いところに貯留施設建設
- 3、暮らし第一のあたたかいまちに
  - ・国保税のこどもの均等割り免除
  - ・「住宅リフォーム助成制度」実施
  - ・「地産地消」推進、農業後継者の育成
- 4、教育、文化、スポーツの豊かなまちに
  - ・温水市民プール建設
  - ・清潔な学校トイレ整備
  - ・学校給食費2人目以降の無料化
- 5、「住民が主人公」のまちに
  - ・公民館使用料の無料化
  - ・図書館・保育所・学童保育の直営化
  - ・ジェンダー平等の推進

6年前、「武里子ども食堂」づくりに参加しました。シングルマザーの方々が懸命に生きていく姿に接し、もつと力になれたらと思うことばかりでした。新型コロナ禍で今、業者はもろろん、大人も子どもも学生も高齢者もみんな苦しんでいます。赤ちゃんから高齢者までみんなが安心して暮らせるあ

たかい春日部市政にするために全力で頑張りますので、大きなご支援をお願いします。

春日部市初の女性市長で「子育ても老後も安心」のあたたかい市政実現  
スタート集会

○7月10日(土) 14時

○市民文化会館大会議室

※マスクの着用をお願いします。

うづき武彦議員一般質問

ヤングケアラーの実態を調査し

総合的に支援できる体制整備を



6月8日、6月定例市議会一般質問で、うづき武彦議員は、ヤングケアラーの実態調査と支援策について取り上げました。

「子どもの貧困」と合わせて調査する

ヤングケアラーは、大人がやるべき家族の介護や家事を行っている18歳以下の子どものことです。昨年埼玉県が高校2年生を対象に調査し、その後、国も高校2年生と中学2年生を対象

調査し結果を報告しています。(左表)

国の報告書でも、「自治体ごとの実態調査が必要」と記していることを示して、市として調査すべきではないかと質しました。こども未来部長は、「今年度こどもの貧困についての調査を予定しているの、その中で

埼玉県の調査(高校2年生)

ヤングケアラーの割合	4.1%
ケア時間が2時間以上	平日 25.1% 休日 41.4%
生活などへの影響	
孤独を感じる	19.1%
ストレスを感じる	17.4%
勉強の時間が取れない	10.2%
自分の時間がとれない	9.8%
必要とする支援	
相談できる場所	16.0%
信頼して見守ってくれる大人	14.5%
勉強のサポート	13.2%

国の調査

ヤングケアラーの割合	
高校2年生	4.1%
中学2年生	5.7%
ケア時間平均	
高校2年生	3.8時間
中学2年生	4.0時間

こども家庭総合支援拠点を設置し対応する

ヤングケアラーについても調査したい」と答えました。

子どもと一接する機会が多い教職員がヤングケアラーを発見し、支援につなげることが大切です。これまでに教職員によって把握した実績はあるのか質問しました。

学務指導担当部長は「把握できた範囲ではヤングケアラ

ーはいません」と答弁しました。教職員に周知を図り、把握に努めるべきです。

ヤングケアラーは、こどもだけを支援したのでは問題を解決できません。家庭全体の支援が必要で、教育委員会や福祉部など複数の部署が連携して対応しなければなりません。うづき議員は支援体制の確立を求めました。

こども未来部長は「令和5年2月にこども家庭総合支援拠点を設置し、社会福祉士、保健師、心理職員を配置し、介護・福祉・医療など関連機関と連携しヤングケアラーを含む家庭全体の支援を進める」と答弁。

石川市長は「子どもたちの健全育成に努めることは大人の責務です。ヤングケアラーについても実態を把握したうえで対応する」と答えました。

市立医療センター Tel735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外

救急電話相談#7119

- 6/20(日) かすかべ消化器内科クリニック(内科系) 谷原新田 2177-1 Tel796-0230 安達医院(小児科系) 栄町3-287 Tel761-6398 五百木整形外科医院(外科系) 中央5-5-19 Tel736-9977
- 6/27(日) 有賀内科クリニック(内科系) 中央1-4-6 Tel760-2703 豊春内科小児科クリニック(小児科系) 上蛭田 681 Tel760-2300 さくら皮フ科(外科系) 中央1-1-1 Tel760-4112

休日の三番医